



若小便り

令和3年

3月26日(金)

若松小学校便り

第13号

Tel 85-1014

【重点教育目標】 自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子供の育成

年度末にあたって/ VICTORY : by Jacsons 1984

校長 本谷 弘之

青空に映える山頂の真っ白な雪。そこから連なる幾重もの突起を含み、陽と陰とのコントラストとを見せる山々。校長室の窓から見える遊楽部岳が今日も自然の雄大さを感じさせてくれます。

私が昨年4月1日に赴任し、ここから見た時と変わらず、いや、ここに若松小学校が建った時から121年間ずっと、歴代の校長や職員達に同じ景観を見せてくれていたのでしょうか。その長い年月の中で、この1年ほど短期間に大きく時代が変動した年が何度あったのでしょうか。

4月、新年度に入り、卒業式同様感染症対策の名目で在校生や来賓を迎えないちょっと寂しい入学式を終え、それでも少しずつ学校生活が軌道に乗ってきた矢先の、4月18日から5月いっぱいにつながる北海道緊急事態宣言による学校休業。何度か登校日を挟んで、子どもたちの学習課題を与えたり、その進捗状況を確認したりしていましたが、この時には、学習面の保障はもちろん、学校行事はどこまで行えるのか、という懸念もありました。

しかし、本校では極小規模という教育環境を最大のメリットと捉え、休み期間中に、学校が再開してからできることを、道の通知に従ってしっかりと感染症対策を取りながら、計画し直しました。その結果、日課表の変更による学習時間の確保により、全ての履修内容を終え、既習事項の復習まで行うことが出来ました。常時機の横に設置した1人1台端末によるオンライン学習や他校の協力により遠隔授業等にも取り組みました。また、内容を工夫することにより年間行事予定で計画されていた学校行事の取組も全て、いや、日課表変更による授業時数の余剰時数が増えたことから、当初の計画以上の、若松小学校だからこその取組（火薬エンジンのロケットの作成・打ち上げや、プログラミングによるドローン飛行、地域の特殊詐欺防止運動等々）にも新たに取組むことが出来ました。そして、それらの活動の様子は、せたな町広報紙だけでなく、新聞やテレビで伝えられることもたびたびありました。

そして、無事に終わることが出来た本年度の最後の大きな行事、卒業式では、卒業生へ「今後も常に希望を失わず、現状を最大限に活かした取組ができる社会人へと成長して欲しい」との願いを持って、世界的バレエ振付師モーリス・ベジャールの『希望は常に勝利である』という言葉を贈りました。この1年は、まさにこの言葉が実証された年だと思えたからです。

これらの取組には、保護者の方々はもちろんのこと、地域の方々や、各方面関係団体の方々の絶大な応援がありました。この場を借りてお礼申し上げます。この一年間のご支援・ご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

この4月からは、若松小学校121年の歴史を締めくくる最後の年度がスタートします。学力や体力、コミュニケーション能力、コンピュータリテラシーなど子どもたちに身に付けさせたい力はたくさんあります。若松小学校児童としてしか味わえない最高の思い出が残せるよう、教職員一同最大限の力を発揮することをお約束し、さらなる皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

※名盤「スラー」で名声を確立したマイケル・ジャクソンが、兄弟グループ、ジャクソンズ 5枚目のアルバム「ヴィクトリー」に参加し、ここでも大ヒットさせました。マイケルの存在感はここでも全開ですが、ミック・ジャガーの参加などの話題性もあり、緩急バランスのとれた聴き応えのあるアルバムとなっています。

学校運営協議会

3月12日（金）学校運営協議会を行いました。令和2年度の学校経営の評価について、また、令和3年度の学校経営方針について説明しました。児童、保護者、教職員による学校評価アンケートをもとに成果と課題を説明し、今後の重点指導事項やその具体的方法について学校運営協議会の委員に示し、承認を得ることができました。

次年度の学校経営のキーワードは「コミュニケーション力の育成」です。閉校や中学校進学に向けて、児童のコミュニケーション力を育成していくことについて、課題意識を共有することができました。

また、令和3年度は教頭未配置の学校となるため、学校業務の整理と効率化、閉校事業に伴う業務の増加を見据え、学校運営協議会との連携のもと、コミュニティ・スクールとして学校の教育の充実を推進することを確認しました。

特殊詐欺に注意！

地域安全ボランティア活動



3月11日（木）に地域の各家を回って、特殊詐欺被害の注意を呼びかける活動を行い、「キャッシュカードを渡さないでください」「怪しいと思ったら誰かに相談してください」などのメッセージを伝えました。

せたな警察署の生活安全課の方にアドバイスいただいて、注意喚起のメッセージカードを作りました。また、JA若松からお米をご提供いただき、せたな警察署の方のアイデアで「だまされ米」と名付けて一緒に配りました。子どもたちは、自分の考えたメッセージを相手に伝えるように、丁寧にゆっくりと話していました。相手のリアクションや言葉が変わるので、それに応じて話しかたを変えることができました。閉会式の感想で、「少し緊張したけどちゃんとできたのでよかった」、「今まで知らなかった地域の人と知り合えて良かった」など、地域の人たちとのつながりを強めることができました。また、「地域の人たちが詐欺にだまされないようにしてほしい」と、地域の安全を願う気持ちを持つことにもつながったようです。



NHKの夕方のニュース
で放送されました。

6年生を送る会

3月5日（木）に卒業する6年生に、お祝いと感謝の気持ちを伝えるため、新児童会が中心となって「6年生を送る会」を行いました。各学級からの出し物と全校器楽がありました。1・2年生は、「学校クイズ」を出しました。階段や下駄箱の数、初代校長の名前など解答者を悩ませる良い選択問題でした。4年生は、箱の中身を当てる「ブラックボックス」や○×クイズをして、みんなを楽しませました。5年生は、トランプマジックとハンカチから消しゴムが消える



マジックをしました。6年生は、「鬼滅の刃」のスリーヒントクイズと「パーフェクトヒューマンダンス」のダンスをしました。5年生も一緒に踊りました。どの学年も練習や準備をしっかりと、本番に望み、みんなを楽しませる出しものができました。6年生の卒業式前最後の器楽演奏として、「海に見える街」を演奏しました。きれいなメロディーとハーモニーで、胸が熱くなる思いでした。

この6年生を送る会は、6年生も在校生も一緒に楽しめたことで、みんなの良い思い出になったことでしょう。



発表集会（1, 2年生担当）

手に持っているのは、発表のメモです。それも、ちらっとしか見ないようにがんばって発表しました。

2月22日（月）の業間休みに1, 2年生の発表集会がありました。1, 2年生は「雪アート」についての発表をしました。1つめの作品「うし」と2つめの作品「しろ」



について、材料、作り方、苦労・工夫したこと、感想についてそれぞれ発表しました。練習のときは発表時間がずいぶん長くなっていましたが、本番ではすっきりとまとめて話すことができました。本番に強い2人ですね。



予め書いておいた文章を読むだけの発表からレベルアップして、メモをもとに話す力を身に付けることができました。また、発表内容について質問されても、上手に答えることもできました。さすがですね。

道徳「いのちについて考えよう!!」

出生時の体重と同じ重さのお米を持ってみました。

生まれた時の身長は 48.4cm、今の身長は 156.2cm、大きくなりました。「いのち」という言葉からイメージすることを書きとめる活動では、すぐに「守る物」と書きました。そのあと、時間をかけて考えて考えて「動く⇒生きる⇒生きるためにある物⇒一つ」とイメージマップに書きました。



4年生らしい発想、よく考えてくれた時間でした。1・2・4年生のお母さん方には、お手紙や赤ちゃんの時の写真選びなど、ご協力をいただき、ありがとうございました。生まれたばかりの写真は本人にわからないように準備したので、「先生？いつもらったの？」って聞き、不思議そうにしていました。

薬物乱用防止教室

3月1日（月）に薬物乱用防止教室がありました。せとな警察署生活安全課の方を講師として、喫煙や飲酒、薬物の害と健康について教えていただきました。子どもたちは、事例をもとに、周りから誘われたときの正しい行動を考えたり、写真で具体的に健康被害の様子や薬物について確認したりしました。感想発表で「誘いを断る勇気を持ちます」など、薬物乱用防止に対する意識の高まりを感じました。



仲良しコミュニケーション活動の交流

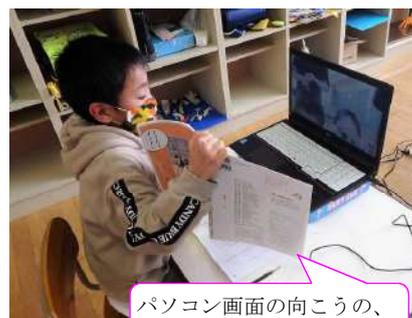
檜山管内の小・中・高等学校が、各学校のいじめ防止などの取組を紹介し合う、「児童生徒仲良しコミュニケーション活動」の実践交流がオンラインで行われました。若松小学校の代表として児童会長が参加し、他の5, 6年生はその様子を参観しました。児童会長は、厚沢部小学校の児童会に質問をすることができました。他校の取組を、次年度の児童会活動に生かしてほしいと思います。



北檜山小学校とオンライン道徳（2年生）

3月11日に北檜山小学校の2年生とオンラインで道徳の交流学习をしました。若松小学校閉校後に北檜山小学校と統合するため、交流する機会を増やしていきたいと考えていましたが、コロナ禍で集合学習が難しいので、オンラインによる交流学习を行うこととなりました。

北檜山小学校の担任の先生は、グループでの話し合いや順番に発表する場面などを多く設けて、T君が発言できる場面を増やしてくれました。T君も、がんばって手を挙げたり「いいで〜す」と声を出したりしていました。このオンライン道徳を北檜山小の2年生もとても楽しんでいたので、今後もこのような機会を増やしていきたいと思えます。



パソコン画面の向こうの、北檜山小の2年生に向かって発表しています。

4月の行事予定

日	曜	行事予定	バス	日	曜	行事予定	バス
1	木			16	金		14:40 ×
2	金			17	土		
3	土			18	日		
4	日			19	月	自転車教室(予備日は4/26)	13:50 14:40
5	月			20	火		14:40 ×
6	火	始業式	12:00 ×	21	水	児童会・委員会(業)	14:40 ×
7	水	街頭指導(9日まで)	14:40 ×	22	木	家庭訪問①(5時間授業)	13:50 ×
8	木	縦割班会議	14:40 ×	23	金	家庭訪問②(5時間授業)	13:50 ×
9	金	児童会・委員会(業間)	14:40 ×	24	土		
10	土			25	日		
11	日			26	月	*職員研修のため午前授業	12:30 ×
12	月	二計測 学力検査	13:50 14:40	27	火		14:40 ×
13	火	学力検査 クリーン作戦	14:40 ×	28	水		14:40 ×
14	水	参観日 クリーン作戦予備日	13:50 ×	29	木	昭和の日	
15	木	児童会集会(業)	14:40	30	金		14:40 ×

転出職員より



黒川 貴功 教頭 (今金町立種川小学校 校長として異動)

令和元年度から2年間、お世話になりました。その間、PTAや地域の皆様にご協力いただき、小規模校のフットワークの良さを最大限に生かした取り組みを推進することができました。閉校まで1年を残して若松小学校を去ることはとても残念ですが、11月20日の閉校式典の成功を今金の地から応援しております。

歴史と伝統、皆様の思いが詰まった若松小学校での経験を、新天地でも生かしていきたいと思えます。お世話になりました。ありがとうございました。

閉校記念事業実行委員会からのお知らせ

地域の皆様のご理解、ご協力により、閉校記念事業が着々と進んでおります。ありがとうございます。そこで、次の件につきまして、改めてお知らせいたします。ご確認ください。

閉校式典は、令和3年11月20日

閉校は、令和4年3月末日(1年後)